

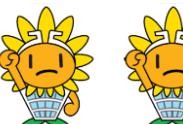
■使用評価マニュアル: 北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト: CASBEE北九州\_2014(v2.0)

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)マックスバリュ城野 新築	BEE	0.5	BEEランク	B-	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----	----

## 2 重点項目への取組み度

重点項目	得点 <sup>*</sup> /満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	2.8 /5		がんばろう 
2 地球温暖化対策の推進	3.4 /5		ふつう 
3 豊かな自然環境の確保	1.6 /5		がんばろう 
4 高齢社会への対応	3.0 /5		ふつう 
※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
			がんばろう 3 点未満

## 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v.4.01)
1 循環型社会への貢献	スコア平均 2.9
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数 スコア 3 Q2/ 3 対応性・更新性 スコア 3.1
<自由記述>	<自由記述>
2 地球温暖化対策の推進	スコア平均 3.4
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮	節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水 スコア 3
<自由記述>	<自由記述>
3 豊かな自然環境の確保	スコア平均 1.7
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出	緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上 スコア 2 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善 スコア 2
<自由記述>	<自由記述>
4 高齢社会への対応	スコア平均 3.0
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	主な指標 建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級 0.88 建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅:BEIm値、住宅: - 0.72 外構緑化指數 5 % 建物緑化指數 20 %
<自由記述>	



: 入力欄

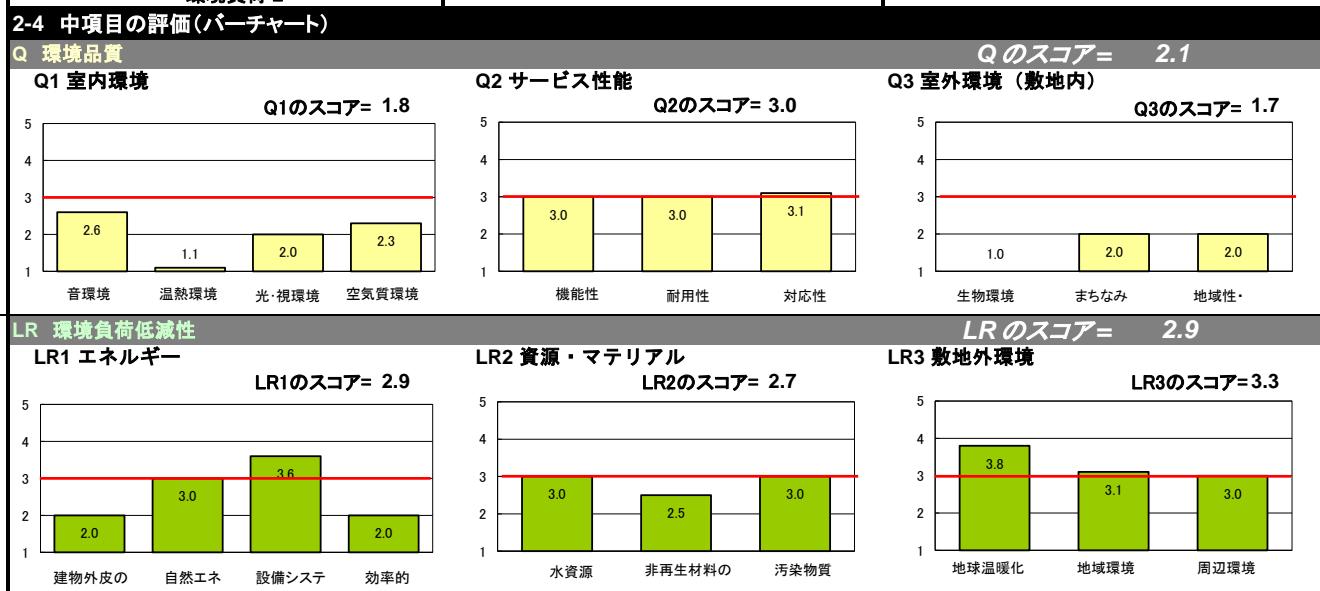
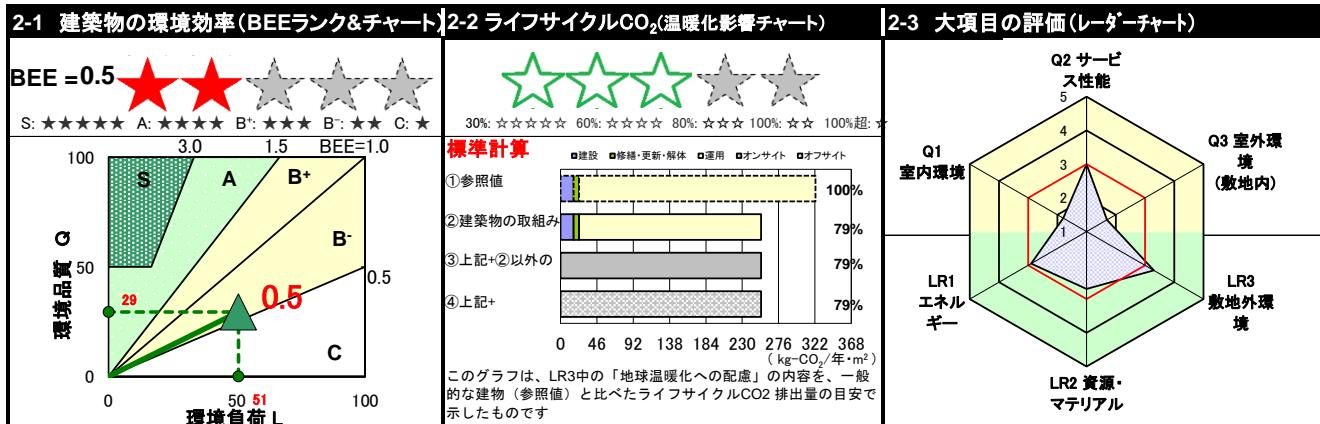


: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マックスバリュ城野 新築工事	階数	地上2F
建設地	福岡県北九州市小倉南区富士見一	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定)
建物用途	物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2022年10月10日
敷地面積	9,114 m <sup>2</sup>	作成者	高地俊成
建築面積	3,346 m <sup>2</sup>	確認日	2022年10月11日
延床面積	6,371 m <sup>2</sup>	確認者	久保隆一



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
階高をできるだけ低く抑え、圧迫感を感じさせないような建物とした。		0
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
陳列棚の通路幅を1.5m以上取ることでゆとりのある空間とした。	多目的トイレにオストメイトを設置した。	建物出入口付近に車いす用の駐車場を配置した。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
外壁全体を断熱し、省エネ適応にも適合させた。	節水コマ付きの水道蛇口とした。	室外機置場を屋外に設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)マックスバリュ城野 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
配慮項目	スコア						
<b>Q 建築物の環境品質</b>							
<b>Q1 室内環境</b>							
<b>1 音環境</b>							
1.1 室内騒音レベル	—		2.6	0.15			
1.2 遮音			3.0	0.40			
1 開口部遮音性能	—		3.0	0.40			
2 界壁遮音性能	—		3.0	1.00			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	—		—	—			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	—		—	—			
1.3 吸音	—		1.0	0.20			
<b>2 溫熱環境</b>			1.1	0.35			1.1
2.1 室温制御			1.3	0.50			
1 室温	—	省エネ適応対象	1.0	0.50			
2 外皮性能	—		3.0	0.17			
3 ゾーン別制御性	—		1.0	0.33			
<b>2.2 湿度制御</b>			1.0	0.20			
<b>2.3 空調方式</b>			1.0	0.30			
<b>3 光・視環境</b>			2.0	0.25			2.0
3.1 昼光利用			3.0	0.50			
1 昼光率	—		—	—			
2 方位別開口	—		—	—			
3 昼光利用設備	—		3.0	1.00			
<b>3.2 グレア対策</b>			3.0	—			
1 昼光制御	—		—	—			
<b>3.3 照度</b>			1.0	0.50			
<b>3.4 照明制御</b>			—	—			
<b>4 空気質環境</b>			2.3	0.25			2.3
4.1 発生源対策			3.0	0.50			
1 化学汚染物質	—		3.0	1.00	3.0		
<b>4.2 換気</b>			2.0	0.30			
1 換気量	—		1.0	0.50	3.0		
2 自然換気性能	—		3.0	—			
3 取り入れ外気への配慮	—		3.0	0.50			
<b>4.3 運用管理</b>			1.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視	—		1.0	0.50			
2 喫煙の制御	—		1.0	0.50			
<b>Q2 サービス性能</b>			—	0.30			3.0
<b>1 機能性</b>			3.0	0.40			3.0
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40			
1 広さ・収納性	—		—	—			
2 高度情報通信設備対応	—		—	—			
3 パリアフリー計画	—		3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性			2.6	0.30			
1 広さ感・景観	—		3.0	0.33	3.0		
2 リフレッシュスペース	—		2.0	0.33			
3 内装計画	—		3.0	0.33	1.0		
1.3 維持管理			3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計	F★★★★の材料を採用している。			4.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保	—		3.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>			3.0	0.30			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	—		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能	—		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.30			
1 転体材料の耐用年数	—		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	—		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	—		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	—		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	—		3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔	—		3.0	0.20			
2.4 信頼性			3.0	0.20			
1 空調・換気設備	—		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備	—		3.0	0.20			
3 電気設備	—		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法	—		3.0	0.20			
5 通信・情報設備	—		3.0	0.20			

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	階高H=3,500とした。	3.1	0.30	-	-	3.1
	2 空間の形状・自由さ	-	-	3.4	0.30	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	-	-	5.0	0.60	-	-	
	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	-	1.0	0.40	3.0	-	
	2 給排水管の更新性	-	-	3.0	0.30	3.0	-	
	3 電気配線の更新性	-	-	3.0	0.40	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	-	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)	5 設備機器の更新性	-	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	-	3.0	0.20	-	-	
	1 生物環境の保全と創出	-	-	-	0.30	-	-	1.7
	2 まちなみ・景観への配慮	-	-	1.0	0.30	-	-	1.0
	3 地域性・アメニティへの配慮	1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.40	-	-	2.0
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	-	2.0	0.30	-	-	2.0
	LR 建築物の環境負荷低減性	-	-	-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制	-	-	-	0.40	-	-	2.9
	2 自然エネルギー利用	-	-	2.0	0.20	-	-	2.0
	3 設備システムの高効率化	省エネ適応に適合させた。	-	3.0	0.10	-	-	3.0
	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	-	3.6	0.50	-	-	3.6
	4.1 モニタリング	-	-	2.0	0.20	-	-	2.0
	4.2 運用管理体制	-	-	2.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	1.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水	-	-	0.30	-	-	2.7
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.20	-	-	3.0
	2	2 雜排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.40	-	-	
	2.5 非再生性資源の使用量削減	1.1 節水	-	-	3.0	0.60	-	2.5
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	-	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	-	1.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	3.0	0.22	-	-	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	3.0	0.20	-	-	3.0
	3.2 フロン・ハロンの回避	1 消火剤	-	-	3.0	1.00	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	-	-	-	-	-	
	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	-	-	-	-	-	
	LR3 敷地外環境	-	-	-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO279%	-	3.8	0.33	-	-	3.8
	2 地域環境への配慮	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用せず、電気給湯器を使用した。	3.1	0.33	-	-	3.1
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	-	5.0	0.25	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	2.3 地域インフラへの負荷抑制	-	2.0	0.50	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	-	3.5	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	適切な量の駐車・駐輪スペースを確保した。	-	3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮	4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	5.0	0.25	-	-	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止	1 騒音	-	3.0	0.25	-	-	
	2 振動	-	-	3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭	-	-	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	1 風害の抑制	-	3.0	0.40	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	3.0	0.70	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	-	3.0	0.20	-	-	
	2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	-	3.0	0.70	-	-	
	3.3 光害の抑制	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.30	-	-	
	2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	-	3.0	0.30	-	-	